

用語の説明

○健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全度を示す指標です。数値が低くなるほど、財政は健全とされます。

○実質公債費比率

収入に対する1年間で支払った借金返済額などの割合。数値が高いほど、財政の弾力化性が低下していることを示します。

○将来負担比率

収入に対する将来市が負担する借金などの割合。数値が高いほど、将来、財政を圧迫する可能性が高いことを示します。

○早期健全化基準

実質公債費比率が、この基準（25.0%）を超えると「早期健全化団体」となり、自治体の自主的な取り組みにより財政の健全化を図ることになります。

○財政再生基準

実質公債費比率が、この基準（35.0%）を超えると「財政再生団体」に指定され、国の関与のもとで財政の再生を図ることになります。

○財政力指数

標準的な行政経費に対する税収入等の割合。数値が高くなるほど、財政力が高いとされます。